



平成 19 年 3 月 8 日

各 位

会 社 名 株式会社アムスライフサイエンス
 代表者名 代表取締役社長 浅山雄彦
 (J A S D A Q ・ コード 2927)

問合せ先 取締役社長室長 白鳥弘之
 電 話 054-281-5238

平成 19 年 8 月期中間期（連結・個別）業績予想の修正に関するお知らせ

平成 19 年 8 月期中間期（平成 18 年 9 月 1 日～平成 19 年 2 月 28 日）の業績予想について、平成 18 年 10 月 20 日付の「平成 18 年 8 月期決算短信（連結）」及び同日付当社「平成 18 年 8 月期個別財務諸表の概要」にて発表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1.平成 19 年 8 月期中間期連結業績予想の修正（平成 18 年 9 月 1 日～平成 19 年 2 月 28 日）

（単位：百万円）

	売 上 高	経常利益	中間純利益
前 回 予 想 (A)	2,800	240	140
今 回 修 正 (B)	3,090	320	170
増 減 額 (B - A)	290	80	30
増 減 率	10.3%	33.3%	21.4%
（ご参考）			
前期実績(平成 18 年 8 月期中間期)	2,721	352	200

2.平成 19 年 8 月期中間期個別業績予想の修正（平成 18 年 9 月 1 日～平成 19 年 2 月 28 日）

（単位：百万円）

	売 上 高	経常利益	中間純利益
前 回 予 想 (A)	2,100	280	170
今 回 修 正 (B)	2,330	370	200
増 減 額 (B - A)	230	90	30
増 減 率	10.9%	32.1%	17.6%
（ご参考）			
前期実績(平成 18 年 8 月期中間期)	2,153	332	186

3.業績予想修正の理由

(連 結)

売上高

当社が営む OEM(相手先ブランドによる製造)部門においては、最新鋭の多機能を有する生産設備によって実現した柔軟な生産対応、健康補助食品 GMP に準拠した高度な品質管理体制、迅速かつ効率的な試製実験等を背景に営業活動を行った結果、大口受注に結びつき、スケールメリットによるコストダウンとあいまって、極めて順調に推移いたしました。

また、100%子会社(株)エーエフシーが営む通信販売部門においても、将来の売上増加を図るべく、新聞広告、ダイレクトメールなどを前倒しで積極的に行い、新規会員(顧客)が大幅増加に増加いたしました。

以上により、売上高が前回予想を上回る見込みであります。

経常利益

OEM、通信販売部門の売上高が共に堅調だったことや、保有投資有価証券等の解約等により、投資有価証券売却益が生じたため、経常利益が前回予想を上回る見込みであります。

中間純利益

経常利益までが上記の要因により前回予想を上回る見込みとなったことにより、中間純利益についても前回予想を上回る見込みであります。

(個 別)

個別の業績につきましては、連結に記載した売上高及び経常利益の要因により、売上高、経常利益、中間純利益ともに前回予想を上回る見込みであります。

4.平成19年8月期通期の業績予想(平成18年9月1日~平成19年8月31日)

平成19年2月16日付けで公表したとおり、当社は子会社による本草製薬株式会社(株)の事業譲受に向け作業を進めております。この事業譲受につきましては平成19年6月1日の予定で進めており、現在、今後の業績に与える影響を精査中でありますので、平成19年8月期通期の業績予想につきましては、今後内容が確定次第速やかに開示いたします。従いまして、平成19年8月期通期業績予想につきましては、前回予想から変更しておりません。

[ご参考]

平成19年8月期通期連結業績予想(平成18年9月1日~平成19年8月31日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
今期予想	6,000	500	300
前期実績(平成18年8月期)	5,459	483	287

平成19年8月期通期個別業績予想(平成18年9月1日~平成19年8月31日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
今期予想	4,100	500	300
前期実績(平成18年8月期)	4,195	574	344

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上